

# 親子読書『熊本の心』の感想より (R2年1月10日実施)

【1年】「きゅうけい先生」

《児童》こうかをつくった人のことがわかったら、もっとたのしくうたえるとおもった。

《お家の方》人吉のお話を探して読みました。娘が生まれた「人吉」がどんなところか、興味を持ってくれたら嬉しいです。

【2年】「朝よみ夕よみ」

《児童》帰ってから宿題をするのは、ぼくと全く正反対だと思います。

《お家の方》ひたむきに勉学へ励む姿は、親子共々見習うべきところがあると思いました。

【3年】「ふるさとをえがく」

《児童》このお話の少年は、教室から見る景色が、少年の心をなぐさめるくらいいい景色なんて、わたしもそのそばでどんな景色か見てみたいです。

《お家の方》自分のふるさとを大事にして景色をたくさん見て絵にするというのは素敵な話ですね。

【4年】「ぼくの町のたいこおどり」

《児童》私は、たいこおどりをしたことがないので、とてもすごいと思いました。

《お家の方》伝統芸能も身近にあるのに、詳しく理解できていない事を改めて感じました。

“くまもとの心”で沢山の事を学んでいるので、私にとっても勉強になっています。

【5年】「カライモ博士」

《児童》何回も失敗を繰り返してついに成功したとき、たっせい感があったんじゃないのかなと思いました。

《お家の方》最初は自分の為。最後は人々の為。努力は、失敗することもあるけど、必ず何か意味があるということですね。

【6年】「自然とともに」

《児童》私はこのお話を読んで、私は江津湖には行ったことはないけど、湖にすんでいる魚やその周りにすんでいる動植物も、その自然の一つということがわかりました。なので、このお話にでてくる女の子の気持ちがとてもよく分かるお話でした。

《お家の方》私たちが住んでいる人吉にもたくさんいいところがあります。子どもたちが帰郷したときに悲しませないようにしなければ、と思いました。

【たんぽぽ・ひまわり学級】「一日田うえ」

《児童》長者どんの家はもえたけど、はたけのしごとはできたのでよかった。

《お家の方》悪いことをしたら必ず自分へ返ってきます。たくさんの方が手伝ってくれた事に感謝すること、一人では無理なこと、分からないと・・・ですね。